

株主メモ
事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
基準日 毎年3月31日
そのほか必要ある場合には、あらかじめ
公告いたします。
定時株主総会 毎年6月下旬
期末配当金 毎年3月31日
支払株主確定日
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関
(電話お問合せ) 〒137-8081
(郵便物送付先) 東京都江東区東砂7丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711 (通話料無料)
公告方法 電子公告
ただし、事故その他やむを得ない事由に
より、電子公告をすることができない場
合は、日本経済新聞に掲載いたします。
<公告掲載アドレス>
http://www.kadoya.com
上場取引所 東京証券取引所 市場第1部
証券コード 2612
株主ご優待 100株以上の株主に対して、年1回自社
製品を贈呈 (5月下旬頃)



第60期株主通信
(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

ごまの恵みを、からだに。



日本のご家庭で、 愛され続けて50年。

かどやの純正ごま油は、今年で発売50周年。
ずっと変わらず愛し続けてくれた皆さまのおかげです。
同じく50周年を迎えたりかちゃんと一緒に、
たくさんの感謝の気持ちをお伝えしていきます。

＼ 発売から五十年 /

50th
純正ごま油



かどやの純正ごま油 50周年プロジェクト開催！

かどや 製油株式会社

© TOMY

株主の皆様へ

平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社はこのたび、第60期（平成28年4月1日から平成29年3月31日まで）の決算を終了いたしましたので、ここに当期の株主通信をお届け申し上げます。

よろしくご高覧賜りますようお願い申し上げます。

平成29年 6 月



代表取締役社長 小澤 二郎

かどやの純正ごま油50周年プロジェクト開催



50周年プロジェクト公式サイト：<http://www.kadoya.com/50th/tabid/329/Default.aspx>

「かどやの純正ごま油」の発売50周年を記念し、同じく誕生50周年を迎えた国民的キャラクターの「リカちゃん」（発売元：株式会社タカトミー）を起用した50周年プロジェクトを2017年4月よりスタートいたしました。

リカちゃんと一緒に50周年の感謝を伝える企画を準備しております。是非ご期待ください。

LNG（液化天然ガス）設備増設

平成24年から小豆島工場に導入しているLNG（液化天然ガス）のタンクを、安定操業を目的として1基増設いたしました。LNGは同じ化石燃料である石油や石炭に比べて二酸化炭素排出量の少ないクリーンなエネルギーです。当社はこれからもより一層環境に配慮し、省エネを推進してまいります。



ごま油PET容器商品発売中

「軽い・割れにくい・捨てやすい」とご好評いただいている純正ごま油（PET）400gに続き、純白ごま油400gもPET化いたしました。

また、四角いPETボトルで発売していた純正ごま油600g、純正ごま油濃口600gも当社瓶型のPETボトルへとリニューアルいたしました。

この機会に是非お試しください。



左から

純正ごま油400g、純白ごま油400g、純正ごま油600g、純正ごま油（濃口）600g

株主優待

日頃の感謝を込めて、毎年3月31日現在100株以上お持ちの株主様へ、「ごま製品詰め合せセット」を贈呈しております。（年1回、5月下旬頃）

本年も小豆島ならではの特産品も含めた特製セットをお届けしました。

ご家族やご友人の皆様でお試しいただけましたら幸いです。



（100株以上の贈答品例）

（1,000株以上の贈答品例）

事業の概況

1. 事業の経過及びその成果

当事業年度におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の追加金融緩和により、企業収益は改善し、国内景気は回復傾向となつていますが、米国の経済政策や中国経済を始めとするアジア新興国の景気下振れ等の影響を受け、為替相場や国内外株価は大きく変動しており、景気の先行きは不透明な状況となっております。

食品業界におきましては、食の安全、安心を確保するための管理体制の強化や、健康志向、中食、プレミアム感といった多様な消費者ニーズに対応する必要が求められています。

このような状況下、当社は「軽くて持ちやすい大容量」を訴求し、600 g 製品のP E T化を行い、販促活動を行いました。また、高品質、高付加価値の純白ごま油を一般のクッキングオイル市場へ浸透させるため、交通広告をはじめ、インターネットや雑誌等メディアを用いて積極的にP Rおよび販促活動を行いました。

販売数量につきましては、家庭用ごま油を中心に小売店や量販店のフォローアップを重

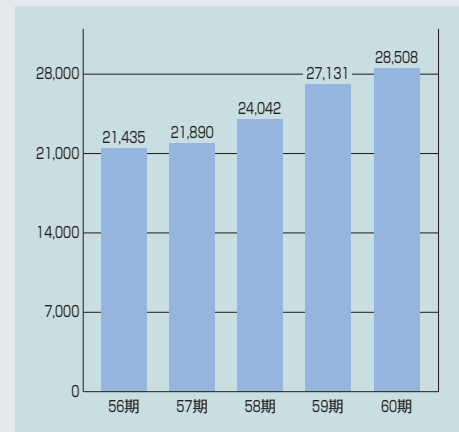
ねた結果、ごま油の販売数量は前年同期比9.9%増、食品ごまの販売数量は前年同期比6.7%増となりました。また、売上高につきましては前年同期比5.0%増となりました。

コスト面では、販売数量増加による処理量が増えたこと、充填工場新設による減価償却費の増加、また工場照明のL E D化による修繕費の増加等の要因はありましたが、原料払出価格および燃料費の減少等により、売上原価は前年同期比9.3%減となりました。

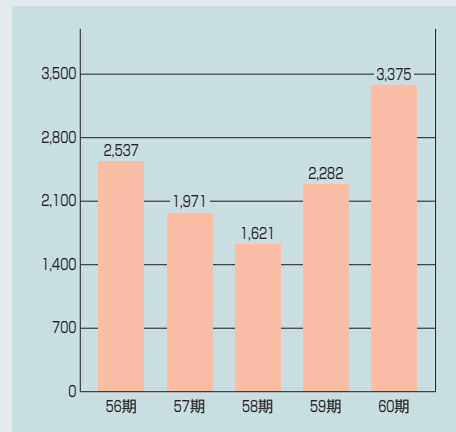
一方、販売費及び一般管理費は、家庭用ごま油等の拡販により拡売条件費等の販売経費が増加し、前年同期比15.8%増となりました。

この結果、売上高は28,508百万円（前年同期比1,376百万円増）、経常利益は3,375百万円（前年同期比1,092百万円増）、当期純利益は神戸事業所売却による固定資産売却益を計上したこと等により、2,673百万円（前年同期比1,236百万円増）となりました。

売上高 (百万円)



経常利益 (百万円)



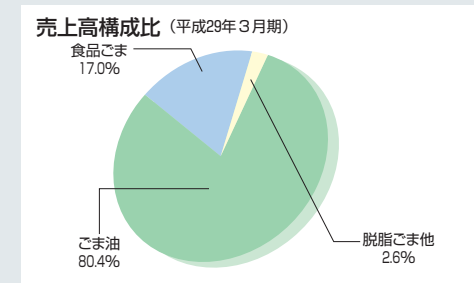
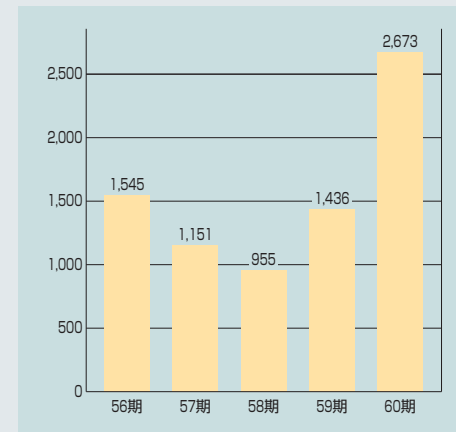
2. 会社が対処すべき課題

食品業界の経営環境につきましては、依然厳しく、原料価格の不安定さ、少子高齢化による国内需要の減退等により、競合メーカーとの競争激化が予想されます。このような環境下で当社は、今後ごまのトップメーカーとして邁進していくために、以下の課題について取り組んでまいります。

- ①コスト削減と、コストに見合った価格の実現
- ②国内市場では量から質への転換
- ③北米や欧州等の海外市場の拡販に注力
- ④今後のごま需要の動向を見据えた上での生産体制の推進
- ⑤品質管理の徹底による安心・安全の更なる追求、研究開発の推進
- ⑥顧客ニーズにあった新製品の開発
- ⑦コンプライアンス体制の強化と内部統制システムの構築によるC S R（企業の社会的責任）の向上
- ⑧株主に利益が還元できる体制を確立するため、優れた人材を確保

当社は、これらの施策により、経営環境の変化に即応できる経営基盤・体質の強化を一層進めてまいります。

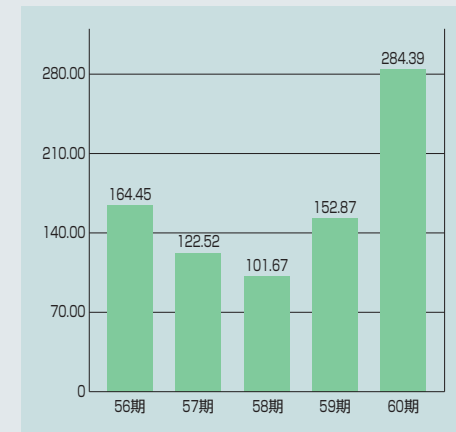
当期純利益 (百万円)



純資産 (百万円)



1株当たり当期純利益 (円)



(単位：百万円)			
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	22,623	流 動 負 債	4,696
		固 定 負 債	995
		負 債 合 計	5,692
固 定 資 産	6,863	(純資産の部)	
		株 主 資 本	23,190
		資 本 金	2,160
		資 本 剰 余 金	3,082
		利 益 剰 余 金	17,948
		自 己 株 式	△0
		評価・換算差額等	603
		その他有価証券評価差額金	606
有 形 固 定 資 産	4,747	繰延ヘッジ損益	△3
		純 資 産 合 計	23,794
		負債純資産合計	29,486
無 形 固 定 資 産	21		
投資その他の資産	2,094		
資 産 合 計	29,486		

(注) 百万円未満の端数は切り捨て表示しております。

損益計算書(自 平成28年 4 月 1 日 至 平成29年 3 月31日)

(単位：百万円)	
科 目	金 額
売 上 高	28,508
売 上 原 価	16,856
売 上 総 利 益	11,651
販売費及び一般管理費	8,069
営 業 利 益	3,582
営 業 外 収 益	77
営 業 外 費 用	285
経 常 利 益	3,375
特 別 利 益	582
特 別 損 失	28
税 引 前 当 期 純 利 益	3,929
法人税、住民税及び事業税	1,128
法 人 税 等 調 整 額	128
当 期 純 利 益	2,673

(注) 百万円未満の端数は切り捨て表示しております。

(単位：百万円)											
	株 主 資 本									自己 株式	株主 資本 合計
	資本金	資本剰余金		利 益 剰 余 金							
		資 本 準備金	資本剰余金 合 計	利 益 準備金	その他利益剰余金			利益剰余金 合 計			
					固定資産 圧縮積立金	別 途 積立金	繰越利益 剰 余 金				
当 期 首 残 高	2,160	3,082	3,082	250	—	10,140	5,448	15,839	△0	21,081	
当 期 変 動 額											
固定資産圧縮積立金の積立					305		△305	—		—	
別途積立金の積立						300	△300	—		—	
剰 余 金 の 配 当							△563	△563		△563	
当 期 純 利 益							2,673	2,673		2,673	
自 己 株 式 の 取 得									△0	△0	
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)											
当 期 変 動 額 合 計	—	—	—	—	305	300	1,503	2,109	△0	2,109	
当 期 末 残 高	2,160	3,082	3,082	250	305	10,440	6,952	17,948	△0	23,190	

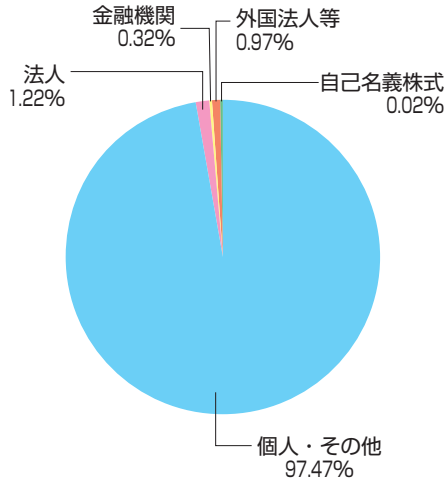
	評 価 ・ 換 算 差 額 等			純資産合計
	その他有価証券 評 価 差 額 金	繰延ヘッジ損益	評価・換算 差額等合計	
当 期 首 残 高	453	△103	349	21,430
当 期 変 動 額				
固定資産圧縮積立金の積立				—
別 途 積 立 金 の 積 立				—
剰 余 金 の 配 当				△563
当 期 純 利 益				2,673
自 己 株 式 の 取 得				△0
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	153	100	254	254
当 期 変 動 額 合 計	153	100	254	2,363
当 期 末 残 高	606	△3	603	23,794

(注) 百万円未満の端数は切り捨て表示しております。

株式の状況（平成29年 3 月31日現在）

(1)発行可能株式総数	16,000,000株
(2)発行済株式の総数	9,400,000株
(3)株主数	6,387名

所有者別状況分布表



大株主（上位10名）

株 主 名	持 株 数	持 株 比 率
	株	%
三 菱 商 事 株 式 会 社	2,477,000	26.35
三 井 物 産 株 式 会 社	2,019,500	21.48
小 澤 物 産 株 式 会 社	1,063,186	11.31
小 澤 商 事 株 式 会 社	428,314	4.55
伊 藤 忠 商 事 株 式 会 社	300,000	3.19
国分グループ本社株式会社	300,000	3.19
日清食品ホールディングス株式会社	300,000	3.19
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	101,800	1.08
株式会社Ｊ－オイルミルズ	100,000	1.06
日 本 山 村 硝 子 株 式 会 社	100,000	1.06

（注）1. 持株比率は自己株式（282株）を控除して計算しております。

会社概要（平成29年 3 月31日現在）

商号	かどや製油株式会社 (KADOYA SESAME MILLS INCORPORATED)
資本金	21億6,000万円
創業	安政 5 年（西暦1858年）
設立	昭和32年 5 月 2 日
営業品目	㊟印・純正ごま油、純白ごま油、ラー油 ㊟印・食品用ごま製品 ㊟印・脱脂ごま
従業員数	284名
取引銀行	み ず ほ 銀 行 五反田支店 三 井 住 友 銀 行 五反田支店 三菱UFJ信託銀行 本 店 三菱東京UFJ銀行 五反田支店
事業所	本社／〒141-0031 東京都品川区西五反田8丁目 2 番 8 号 電話03(3492)5545（代表） FAX03(3492)5985 工場／〒761-4101 香川県小豆郡土庄町甲6188 電話0879(62)1133（代表） FAX0879(62)1135 支店／仙台支店、東京支店、名古屋支店、大阪支店 広島支店、福岡支店 営業所／札幌営業所



役員（平成29年 6 月23日現在）

代表取締役社長	小 澤 二 郎	常 勤 監 査 役	西 村 泰 彦
取 締 役	佐 野 雅 明	監 査 役	兼 田 昌 隆
取 締 役	吉 岡 努	監 査 役	松 岡 昌 哉
取 締 役	戸 倉 章 博	監 査 役	塩 岡 見 聡
取 締 役	馬 場 宗 夫		
取 締 役	井 尻 尚 宏		
取 締 役	森 基 祐		
取 締 役	川 上 三知男		
取 締 役	石 塚 昭 夫		